

## 第4 課題

八戸市は、都市化の進展が著しく、農業以外の就業の機会が多いことや農業者の高齢化等により、農業者の減少が顕在化しています。

生産基盤である農地についても、農地中間管理機構を利用した借入・貸付面積は増えているものの、都市的土地利用への転換等に加え、流動化も進んでいない状況にあることから、経営耕地面積は減少傾向にあります。

農産物価格は、低下する傾向にある中、生産コストとなる資材・燃料費の価格上昇に歯止めがかからず、収益性が大きく低迷しています。

例えば、米においては、需要が低迷する中で、しばしば供給過剰が生じたことや、経済低迷によりデフレ基調となった影響を受け、価格形成に下落の圧力が加わって推移する傾向にあり、面積規模の小さい農業者の所得は総じて恒常的な赤字状態にあります。

また、食に関するニーズの多様化、グローバル化の一層の進展に加え、近年の自然災害、野生鳥獣害、家畜疾病等の被害が農業の現場に深刻な影響を及ぼすとともに、新型コロナウイルス感染症などの新たな脅威への対応、さらには、それらによる社会・経済活動や消費者ニーズ等の大きな変化に対応することが求められています。

これらの課題に対応し、より筋肉質な産業としての農業の振興と持続的発展を図るため、必要な諸施策を弾力的、かつ、可及的に講じることが必要となっています。